

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

朝日大学 保健医療学部 看護学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人朝日大学  
平成26年5月1日現在

## 作成担当者

担当部局（課）名 学事部

職名・氏名 カクシダイイチチョウ 学事第一部長 タカギ 高木 モトヒロ 基博

電話番号 058-329-1190

（夜間） 058-329-1111

F A X 058-329-1195

e-mail hokeniryo-jimu@alice.asahi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



## 目 次

1	調査対象大学等の概要等	・・・	P 1
2	授業科目の概要	・・・	P 5
3	施設・設備の整備状況, 経費	・・・	P 9
4	既設大学等の状況	・・・	P 11
5	教員組織の状況	・・・	P 13
6	留意事項に対する履行状況等	・・・	P 23
7	その他全般的事項	・・・	P 25



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人朝日大学

## (2) 大学名 朝日大学

## (3) 大学の位置

〒501-0296  
岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミヤタ ススム) 宮田 侑 (平成11年5月)	(ミヤタ ジュン) 宮田 淳 (平成26年4月)	辞任に伴う交代(26)
学長	(オオトモ カツユキ) 大友 克之 (平成20年10月)		
学部長	(モリシタ イサオ) 森下 伊三男 (平成26年4月)		
学科長等	(ハマハタ アキコ) 濱畑 章子 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
 (例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)  
 平成26年度に報告する内容 → (26)  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科  学士(看護学)	4年	80人	- 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成26年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1.08倍	
志願者数	321 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	314 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	146 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	87 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.08									

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度 平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 87	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ ]	
2年次	/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	/		/		[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
4年次	/		/		/		[ ]	[ ]	
計	[ - ] 87	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ - ]	[ ]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	87人	0人	平成26年度	0人	-人		0.0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合計	87人	0人					0.0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の担当が兼任、兼任教員の場合は、「兼○」と、その人数を記載してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
人 と 文 化	哲学	1前		2								兼1	時間割調整上の理由により、配当学期を変更(26)		
	文学	1前		2								兼1			
	歴史学	1前		2								兼1			
	心理学	1後 1前		2								兼1			
	法学(含・日本国憲法)	1前		2								兼1			
	政治学	1前 1後		2								兼1			
	経済学	1前		2								兼1			
	統計学	1後		2								兼1			
	人権論	3前	2									兼1			
	日本語表現法	4後	2									兼1			
	人 と 環 境	物理学	1前 1後		2									兼1	時間割調整上の理由により、配当学期を変更(26)
		化学	1前 1後		2									兼1	
		生物学	1前		2									兼1 兼2	
		倫理学	1前	2										兼1	
生命倫理		4後	2									兼1			
異文化理解		3前	2									兼1			
環境と科学		1後 1前		2								兼1			
科学入門		1前		1		1									
人 と 関 わ り		人間コミュニケーション論	1後	1									兼1	履修者数に合わせてクラス数を減じて開講(26)	
		英語Ⅰ(文献講読)	1後	1									兼2		
	英語Ⅱ(英作文)	1後		1								兼2			
	英語コミュニケーションⅠ(基礎)	1前	1									兼2			
	英語コミュニケーションⅡ(応用)	1後	1									兼2			
	情報処理基礎Ⅰ	1前	1			1						兼1			
	情報処理基礎Ⅱ	1後	1			1						兼1			
総 合	基礎ゼミナールⅠ	1前	1			3 5	3 5	10					当初計画のとおり平成26年4月就任教員で担当(26)		
	基礎ゼミナールⅡ	1後	1			3 5	3 5	10							
	健康とスポーツ スポーツ実践	1前 1前		1 1								兼1 兼3			
社 会 と 健 康	保健統計学	2前	2									兼1	時間割調整上の理由により専任教員が予定コマを担当できなくなった。兼任講師を1名追加し、授業運営上の支障がないようにした。(26)		
	疫学	3前	2									兼1			
	臨床心理学	4後		2								兼1			
	発達心理学	2前		2								兼1			
	保健医療福祉行政論	3前	2									兼1			
	公衆衛生学	1後	2									兼1			
	専門職連携	3前	1			1		1				兼1			
	専 門 科 目	生化学	1後	2										兼1	
		薬理学	1後	2										兼1	
		病理学	1後	2										兼1	
臨床栄養学		1後	2			0 4						兼9 兼8			
微生物・感染		2前	2									兼1			
形態機能学Ⅰ(解剖学)		1前	1									兼1			
形態機能学Ⅱ(解剖学)		1後	1									兼1			
形態機能学Ⅲ(生理学)	1後	1									兼1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
からだ健康	形態機能学Ⅳ(生理学)	1後	1									兼1		
	歯と健康	4後		1								兼1		
	健康と生活	1前	1				1		2					
	臨床病態学Ⅰ(消化器・循環器・呼吸器系)	2前	1										兼6	
	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系)	2前	1										兼7	
	臨床病態学Ⅲ(内分泌・代謝、造血管器、腎・泌尿器系)	2後	1										兼5	
	臨床病態学Ⅳ(精神、こころの障害)	2後	1										兼1	
看護の基礎	基礎看護学概論	1前	2				0 +	0 +	2 +				兼3 兼+	担当予定教授の就任辞退に伴い、平成26年度は兼任講師を2名追加し、授業運営上の支障がないようにした。(26) また、担当予定准教授の就任辞退に伴い専任講師を補充した。 平成26年2月AC教員審査済(26)
	看護過程論	1後	2				0 +	0 +	2 +				兼1	担当予定教授の就任辞退に伴い、平成26年度は兼任講師を1名追加し、授業運営上の支障がないようにした。(26) また、担当予定准教授の就任辞退に伴い専任講師を補充した。 平成26年2月AC教員審査済(26)
	フィジカルアセスメント	2前	2				1	+	+	2	2			担当予定准教授の就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)
	看護技術論Ⅰ(生活援助)	1後	2				0 +	0 +	2 +		2		兼1	担当予定教授の就任辞退に伴い、平成26年度は兼任講師を1名追加し、授業運営上の支障がないようにした。(26) 担当予定准教授就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)
	看護技術論Ⅱ(診療援助)	2前	2				1	+	+	2	2			担当予定准教授就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)
	基礎看護学実習Ⅰ(看護の場と対象)	1前	1				0 +	0 +	2 +		2	6		担当予定教授の就任辞退に伴い、平成26年度は兼任講師を1名追加し、授業運営上の支障がないようにした。(26) 担当予定准教授就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26) 当初計画のとおり平成26年度就任教員で担当(26)
	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)	2後	2				1	+	+	+		6		担当予定准教授就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)
看護の実践と展開	成人看護学概論	2前	1				1						兼1	
	成人看護学援助論Ⅰ(急性期)	2後	2				1			4				
	成人看護学援助論Ⅱ(慢性期)	2後	2				1			4				
	成人看護学演習	3前	1				1			4	1			
	成人看護学実習Ⅰ(急性期)	3後~ 4前	3				1			4	1			
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	3後~ 4前	3				1			4	1			
	老年看護学概論	2前	1				1							
	老年看護学援助論	2後	2				1	1						
	老年看護学演習	3前	1				1	1			1			
	老年看護学実習	3後~ 4前	4				1	1			1			
	小児看護学概論	2前	1						1				兼1	
	小児看護学援助論	2後	2						1	1	1			
	小児看護学演習	3前	1						1	1	1			
	小児看護学実習	3後~ 4前	2						1	1	1			
	母性看護学概論	2前	1				1							
	母性看護学援助論	2後	2				1	1						
母性看護学演習	3前	1				1	1			1				
母性看護学実習	3後~ 4前	2				1	1			1				
精神看護学概論	2前	1				1								
精神看護学援助論	2後	2				1								
精神看護学演習	3前	1				1				1				
精神看護学実習	3後~ 4前	2				1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教		助手		
地域生活支援の展開	在宅看護概論	2後	2					2						
	在宅看護援助論	3前	2					2						
	在宅看護実習	3後～	2					2						
	公衆衛生看護学概論	4前	2									兼1		
	家族看護学	2前	2				1	1	1					
	健康管理論	2前		2								兼1	兼任教員1名補充予定(26)	
	公衆衛生看護活動論Ⅰ(地域診断と活動課題)	4前		2				1					専任教員2名補充予定(26)	
	公衆衛生看護活動論Ⅱ(ライフステージと活動)	4前		2				1	1					
	公衆衛生看護活動論Ⅲ(健康課題と活動)	4前		2				1	1					
	広域公衆衛生活動(学校・産業看護活動)	3前	1				1		1					
	公衆衛生看護学実習	4前		5				1	2					
	専門科目	看護研究	3前	1				2						
		看護研究演習Ⅰ(文献クリティック)	3通	2				5	4 5	11 10				担当予定准教授就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)
		看護研究演習Ⅱ(卒業研究)	4通	2				5	4 5	11 10				担当予定准教授就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)
看護管理論		4後		1					1			兼1		
看護教育学		4後		1								兼1		
看護倫理		4後	1				1							
リスクマネジメント		3前		1					3					
災害看護		4後		1					2					
国際看護論	4後		1			1	1				兼1			
統合実習	4前	2				5	3 4	9 8	6			担当予定准教授就任辞退に伴い、専任講師を補充した。(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
69	32		101	69	32		101	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0.00}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	12,489.43㎡	49,382.88㎡	0㎡	61,872.31㎡				
	運 動 場 用 地	12,920.00㎡	55,204.00㎡	0㎡	68,124.00㎡				
	小 計	25,409.43㎡	104,586.88㎡	0㎡	129,996.31㎡				
	そ の 他	8,410.48㎡	13,433.00㎡	0㎡	21,843.48㎡				
	合 計	33,819.91㎡	118,019.88㎡	0㎡	151,839.79㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		50,642.69㎡ ( 50,642.69㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	50,642.69㎡ ( 50,642.69㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	53室	32室	20室	6室 (補助職員 5人)	2室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健医療学部 看護学科			22 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	教育研究の充実を図るため機械・器具を増やした。(26) 標本の整備内容を一部変更した。教育研究上の支障はない。(26)	
	保健医療学部	3,700 [500] ( 2,480 [330] )	68 [20] ( 68 [20] )	21 [11] ( 21 [11] )	183 ( 85 )	5,935 4,164 (4,164)	38 59 (59)		
	計	3,700 [500] ( 2,480 [330] )	68 [20] ( 68 [20] )	21 [11] ( 21 [11] )	183 ( 85 )	5,935 4,164 (4,164)	38 59 (59)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 ラーニング・commons設置に伴う館内レイアウト変更による閲覧座席数及び収納可能冊数が減少した。(26)		
	2,630.97㎡		335 352		313,083 316,695				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	2,794.25㎡		剣道場、相撲場、卓球場、フェンシング場等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員採用計画の変更等に伴い教員研究費を増額した。(26) 為替変動や価格交渉に伴い図書購入費が減額となった。(26)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	568千円 510千円	520千円 512千円	図書購入費	16,986千円 17,000千円	15,418千円	4,449千円	
	経費の見積り及び維持方法の概要	共 同 研 究 費 等	14,733千円 14,230千円	14,230千円	設備購入費	213,821千円 228,475千円	5,418千円	7,449千円	予定外の支出に対応するため共同研究費を増額した。(26) 業者との価格交渉等により設備購入費が減額となった。(26)
		学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	朝日大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法学部 法学科	4	150	-	600	学士(法学)	0.78 0.78	昭和62年度	岐阜県瑞穂市穂積1851番地の1	
経営学部 経営学科	4	120	-	480	学士(経営学)	0.74 0.79	昭和60年度	同上	
経営情報学科	4	-	-	-	学士(経営情報学)	-	平成3年度	同上	平成26年4月より学生募集停止
ビジネス企画学科	4	150	-	600	学士(経営学)	0.86	平成14年度	同上	
保健医療学部 看護学科	4	80	-	80	学士(看護学)	1.08 1.08	平成26年度	同上	
歯学部 歯学科	6	140	-	840	学士(歯学)	0.88 0.88	昭和46年度	同上	募集人員128人(平成元年より)
法学研究科 法学専攻 (博士前期課程)	2	10	-	20	修士(法学)	0.50	平成4年度	同上	
(博士後期課程)	3	-	-	-	博士(法学)	-	平成6年度	同上	平成26年4月より学生募集停止
経営学研究科 情報管理学専攻 (博士前期課程)	2	10	-	30	修士(情報管理学)	0.25	平成7年度	同上	
(博士後期課程)	3	-	-	-	博士(情報管理学)	-	平成9年度	同上	平成26年4月より学生募集停止
歯学研究科 歯学専攻 (博士課程)	4	18	-	72	博士(歯学)	1.03	昭和52年度	同上	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A-C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
  - ・ 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。



5 教員組織の状況

<保健医療学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	森下伊三男(62)	平成26年4月	科学入門 情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ						
専	教授	武田則之(61)	平成26年4月	臨床栄養学 臨床病態学Ⅲ(内分泌・代謝、造血管、腎・泌尿器系)	兼任	教授	大橋宏重(68)	平成26年4月	臨床栄養学	時間割調整上の理由による担当者の変更(26)
専	教授	藤本次良(60)	平成26年4月	健康と生活						
専	教授	高山直子(64)	平成26年4月	基礎看護学概論	兼任	講師	滝内隆子(61)	平成26年4月	基礎看護学概論	高山直子教授の就任辞退(26) 平成26年度の授業は兼任教員で担当(26) 後任の専任教員を補充予定(26)
				看護過程論	兼任	講師	小松妙子(57)	平成26年4月	基礎看護学概論	
				フィジカルアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助) 看護技術論Ⅱ(診療援助)	兼任	講師	唐澤由美子(53)	平成26年4月	看護過程論	
				基礎看護学実習Ⅰ(看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習 広域公衆衛生活動(学校・産業看護活動)	兼任	講師	唐澤由美子(53)	平成26年4月	看護技術論Ⅰ(生活援助)	
						後任未定				
専	教授	棚橋千彌子(59)	平成26年4月	成人看護学概論 成人看護学援助論Ⅰ(急性期) 成人看護学援助論Ⅱ(慢性期) 成人看護学演習 成人看護学実習Ⅰ(急性期) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習 リスクマネジメント						
専	教授	濱畑章子(61)	平成26年4月	老年看護学概論 老年看護学援助論 老年看護学演習 老年看護学実習 看護研究 専門職連携 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 国際看護論 統合実習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学部長)	森下伊三男(62)	平成26年4月	科学入門 情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ						
専	教授	中島通子(56)	平成26年4月	母性看護学概論 母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 家族看護学 看護研究 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習						
専	教授	片岡三佳(51)	平成28年4月	精神看護学概論 精神看護学援助論 精神看護学演習 精神看護学実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習 看護倫理						
兼任	講師	片岡三佳(50)	平成27年4月	精神看護学概論 精神看護学援助論						
専	准教授	芝田ゆかり(55)	平成27年4月	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(地域診断と活動課題) 公衆衛生看護活動論Ⅱ(ライフステージと活動) 公衆衛生看護活動論Ⅲ(健康課題と活動) 公衆衛生看護学実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	専	准教授	芝田ゆかり(55)	平成26年4月	公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(地域診断と活動課題) 公衆衛生看護活動論Ⅱ(ライフステージと活動) 公衆衛生看護活動論Ⅲ(健康課題と活動) 公衆衛生看護学実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	教育指導体制の早期確立のため採用時期を繰上げ(26)
専	准教授	草川好子(55)	平成26年4月	看護過程論 フィジカルアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助) 看護技術論Ⅱ(診療援助) 基礎看護学実習Ⅰ(看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習	専	講師	平良美栄子(46)	平成26年4月	看護過程論 フィジカルアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助) 看護技術論Ⅱ(診療援助) 基礎看護学実習Ⅰ(看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習	草川好子准教授就任辞退のため専任講師を補充(26) 平成26年2月AC教員審査済(26)
専	准教授	大塚静香(39)	平成26年4月	老年看護学援助論 老年看護学演習 老年看護学実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習						

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専	准教授	小島賢子(59)	平成27年4月	小児看護学概論 小児看護学援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習					
専	准教授	牛之濱久代(52)	平成26年4月	母性看護学援助論 母性看護学演習 母性看護学実習 家族看護学 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 国際看護論 統合実習					
専	講師	御田村相模(60)	平成26年4月	広域公衆衛生活動(学校・産業看護活動) 公衆衛生看護学実習 専門職連携 健康と生活 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ					
専	講師	中村 恵(49)	平成26年4月	看護過程論 フィジカルアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助) 看護技術論Ⅱ(診療援助) 基礎看護学実習Ⅰ(看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習					
専	講師	北端恵子(53)	平成26年4月	成人看護学援助論Ⅰ(急性期) 成人看護学援助論Ⅱ(慢性期) 成人看護学演習 成人看護学実習Ⅰ(急性期) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習 リスクマネジメント					
専	講師	高橋直美(50)	平成26年4月	成人看護学援助論Ⅰ(急性期) 成人看護学援助論Ⅱ(慢性期) 成人看護学演習 成人看護学実習Ⅰ(急性期) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 災害看護 統合実習					

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	岩崎淳子 (46)	平成27年4月	成人看護学援助論Ⅰ(急性期) 成人看護学援助論Ⅱ(慢性期) 成人看護学演習 成人看護学実習Ⅰ(急性期) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習 リスクマネジメント					
専	講師	柴田由美子 (49)	平成26年4月	成人看護学援助論Ⅰ(急性期) 成人看護学援助論Ⅱ(慢性期) 成人看護学演習 成人看護学実習Ⅰ(急性期) 成人看護学実習Ⅱ(慢性期) 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習 リスクマネジメント					
専	講師	石河真紀 (35)	平成26年4月	小児看護学援助論 小児看護学演習 小児看護学実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習					
専	講師	尾崎八代 (58)	平成26年4月	公衆衛生看護活動論Ⅱ(ライフステージと活動) 公衆衛生看護活動論Ⅲ(健康課題と活動) 健康と生活 公衆衛生看護学実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 看護管理論					
専	講師	鈴木岸子 (60)	平成26年4月	在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 災害看護 統合実習					
専	講師	内藤恭子 (52)	平成26年4月	在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 家族看護学 看護研究演習Ⅰ(文献クリティーク) 看護研究演習Ⅱ(卒業研究) 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 統合実習					

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	中川深美 (49)	平成26年4月	フィジカルアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助) 看護技術論Ⅱ(診療援助) 基礎看護学実習Ⅰ (看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程) 統合実習						
専	助教	田島真智子 (43)	平成26年4月	フィジカルアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活援助) 看護技術論Ⅱ(診療援助) 基礎看護学実習Ⅰ (看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程) 統合実習						
専	助教	柿田さおり (30)	平成27年4月	成人看護学演習 成人看護学実習Ⅰ (急性期) 成人看護学実習Ⅱ (慢性期) 基礎看護学実習Ⅰ (看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程) 統合実習						
専	助教	福井享子 (46)	平成27年4月	老年看護学演習 老年看護学実習 基礎看護学実習Ⅰ (看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程) 統合実習						
専	助教	森口節子 (40)	平成27年4月	母性看護学演習 母性看護学実習 基礎看護学実習Ⅰ (看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程) 統合実習						
専	助教	桐山啓一郎 (32)	平成28年4月	精神看護学演習 精神看護学実習 基礎看護学実習Ⅰ (看護の場と対象) 基礎看護学実習Ⅱ (看護過程) 統合実習						
兼任	教授	下野正代 (64)	平成26年4月	心理学 臨床心理学 発達心理学						
兼任	教授	亀山泰永 (62)	平成26年4月	生物学						
兼任	教授	加藤里美 (55)	平成28年4月	異文化理解						
兼任	教授	畦地真太郎 (44)	平成26年4月	人間コミュニケーション論						
兼任	教授	佐藤 勝 (62)	平成26年4月	生物学						
兼任	教授	三田 清 (65)	平成26年4月	政治学						
兼任	教授	山本英弘 (58)	平成26年4月	健康とスポーツ スポーツ実践						
兼任	教授	柴山宮恵子 (64)	平成26年4月	統計学						
兼任	教授	大野典子 (60)	平成26年4月	化学 環境と科学						
兼任	教授	齋藤康輝 (52)	平成26年4月	法学(含・日本国憲法) 人権論						
兼任	教授	長屋恭一 (65)	平成26年4月	スポーツ実践						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	近藤信夫(55)	平成26年4月	生化学						
兼任	教授	江尻貞一(59)	平成26年4月	形態機能学Ⅱ(解剖学)						
兼任	教授	村上幸孝(54)	平成27年4月	微生物・感染						
兼任	教授	田沼順一(52)	平成26年4月	病理学						
兼任	教授	柏俣正典(55)	平成26年4月	薬理学						
兼任	教授	裕 哲崇(51)	平成26年4月	形態機能学Ⅲ(生理学) 形態機能学Ⅳ(生理学)						
兼任	教授	小島孝雄(59)	平成26年4月	臨床病態学Ⅰ(消化器・循環器・呼吸器系) 臨床栄養学						
兼任	教授	加藤隆弘(62)	平成26年4月	臨床病態学Ⅰ(消化器・循環器・呼吸器系) 臨床栄養学						
兼任	教授	瀬川知則(54)	平成26年4月	臨床病態学Ⅰ(消化器・循環器・呼吸器系) 臨床栄養学						
兼任	教授	栗林康造(47)	平成27年4月	臨床病態学Ⅰ(消化器・循環器・呼吸器系)						
兼任	教授	桐生拓司(53)	平成27年4月	臨床病態学Ⅰ(消化器・循環器・呼吸器系)						
兼任	教授	郭 泰彦(56)	平成27年4月	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系)						
兼任	教授	大橋宏重(68)	平成26年4月	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系) 臨床病態学Ⅲ(内分泌・代謝・造血器・腎・泌尿器系) 臨床栄養学						
兼任	教授	大野道也(51)	平成26年4月	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系) 臨床病態学Ⅲ(内分泌・代謝・造血器・腎・泌尿器系) 臨床栄養学						
兼任	教授	日下龍章(61)	平成27年4月	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系)						
兼任	教授	江原英俊(54)	平成27年4月	臨床病態学Ⅲ(内分泌・代謝・造血器・腎・泌尿器系)						
兼任	教授	磯崎篤則(62)	平成29年4月	歯と健康						
兼任	准教授	山崎広光(63)	平成26年4月	哲学 倫理学 生命倫理						
兼任	准教授	佐納康治(50)	平成26年4月	物理学						
兼任	准教授	新井祐子(40)	平成26年4月	スポーツ実践	兼任	講師	田口多恵(44)	平成26年4月	スポーツ実践	新井裕子兼任准教授の育児休業による担当者の変更(26)
兼任	准教授	西 善也(41)	平成26年4月	英語Ⅰ(文献講読) 英語Ⅱ(英作文) 英語コミュニケーションⅠ(基礎) 英語コミュニケーションⅡ(応用)						
兼任	准教授	前谷和則(59)	平成26年4月	歴史学						

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	大濱賢一朗 (38)	平成26年4月	経済学						
専	准教授	米田真理 (43)	平成26年4月	文学 日本語表現法						
専	准教授	矢守恭子 (41)	平成26年4月	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ						
専	准教授	小萱康徳 (63)	平成26年4月	形態機能学Ⅰ(解剖学)						
兼任	准教授	猿井 宏 (52)	平成26年4月	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系) 臨床病態学Ⅲ(内分泌・代謝・造血器、腎・泌尿器系) 臨床栄養学						
兼任	准教授	今泉佳宣 (52)	平成27年4月	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系)						
専	講師	松井かおり (47)	平成26年4月	英語Ⅰ(文献講読) 英語Ⅱ(英作文) 英語コミュニケーションⅠ(基礎) 英語コミュニケーションⅡ(応用)						
専	講師	石津恵津子 (50)	平成28年4月	疫学						
兼任	講師	矢田宏一郎 (40)	平成27年4月	臨床病態学Ⅱ(脳神経・感覚器・運動器系)						
兼任	講師	佐々木昭彦 (46)	平成27年4月	臨床病態学Ⅲ(内分泌・代謝・造血器、腎・泌尿器系)						
兼任	助教	岩田幸子 (45)	平成27年4月	保健統計学						
兼任	助教	廣瀬晃子 (52)	平成26年4月	公衆衛生学						
兼任	助教	八巻隆彦 (42)	平成26年4月	臨床病態学Ⅰ(消化器・循環器・呼吸器系) 臨床栄養学						
兼任	総看護師長	堀ちくみ (52)	平成29年4月	看護管理論						
兼任	管理栄養士	高橋貞子 (57)	平成26年4月	臨床栄養学						
兼任	講師	神光一郎 (51)	平成28年4月	保健医療福祉行政論						
兼任	講師	小田原悦子 (64)	平成28年4月	専門職連携						
兼任	講師	唐澤由美子 (53)	平成29年4月	看護教育学	兼任	講師	唐澤由美子 (53)	平成26年4月	看護過程論 看護技術論Ⅰ(生活援助) 看護教育学	高山直子教授就任辞退のため担当科目の追加及び就任年月の繰上げ(26)
兼任	講師	高須美香 (47)	平成29年4月	国際看護論						
兼任	講師	河崎 博 (61)	平成27年4月	臨床病態学Ⅳ(精神・こころの障害)						

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	岩脇陽子(58)	平成27年4月	成人看護学概論						
兼任	講師	西田直子(62)	平成26年4月	基礎看護学概論						
兼任	講師	杉本陽子(64)	平成27年4月	小児看護学概論						
兼任	講師	星野明子(56)	平成27年4月	公衆衛生看護学概論 健康管理論						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
8	5	10	6	29	7	4	11	6	28	63	0
(7)	(3)	(9)	(2)	(21)	[△1]	[△1]	[1]	[0]	[△1]	65	
										歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
  - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

### (3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	高山直子	一身上の都合による。(26)
2	准教授	草川好子	一身上の都合による。(26)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

### (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- 1 高山直子教授が担当予定であった授業科目については、平成26年度は同教授担当予定部分を兼任講師が担当することで対応を行い、設置認可時の計画どおりの水準で教育指導を行うことができるようにした。  
なお、平成27年度以降は、後任の専任教員を補充する。  
また、学生に対しては、オリエンテーションでの説明及び授業時間割表、シラバス等で周知した。
- 2 草川好子准教授については、後任の専任講師を補充し、設置認可時の計画どおりの水準で教育指導を行うことができるようにした。  
なお、学生に対しては、オリエンテーションでの説明及び授業時間割表、シラバス等で周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。



## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年10月)	<p>1. 「日本語表現法」の配当年次を1年次から4年次に変更した理由は妥当と考えられるものの、講義内容の変更が伴っていないため、4年次に履修するに相応しい講義内容へ修正し、誤解が生じないように周知すること。</p> <p>2. 今後の教員の採用計画について、若手助教の採用及び助手から助教への登用を計画しているが、特に定年を延長して採用する専任教員が主要な科目を担当していることから、退職後の教育研究の維持向上を図る具体的な計画を策定し、確実に実行すること。</p> <p>3. 教員審査の結果、教員の補充が必要とされた「公衆衛生看護活動論Ⅰ」及び「健康管理論」については、それぞれ教育目標を達成できる教育体制とは考えられないため、以下の点を踏まえ確実に教員を補充すること。</p> <p>(1) 「公衆衛生看護活動論Ⅰ」について、5名ずつ3グループに分けて実施する計画であるが、専任教員2名で支障なく実施できることに疑義があるため、補充を必要とされた専任教員1名を追加配置し、当初の計画どおり実施すること。</p> <p>(2) 「健康管理論」については、授業内容からグループワークによる演習科目であり、最低1人の兼任教員を追加配置しなければ教育の質が担保されないと考えられるため、確実に配置すること。</p> <p>なお、教員審査で不可の判定を受けた専任教員が補助的に関わることが懸念されるような説明がされているため、誤解がないように適切に実施すること。</p> <p>4. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。</p> <p>うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>講義内容の修正の検討及び公表準備を進めている。</p> <p>なお、学生に対しては、シラバス及びオリエンテーションにおいて周知することで予定している。(26)</p> <p>今後の教員採用においては、年齢構成をより重視するとともに、FDや研究活動支援、学位取得支援等による教員の育成指導に取り組んでいくこととし、このための具体的な計画を、関係委員会及び教授会において策定中である。(26)</p> <p>留意事項を踏まえ、十分かつ適切な教育指導体制とするよう、当該授業科目開講までに専任教員を補充することで準備を進めている。(26)</p> <p>留意事項を踏まえ、十分かつ適切な教育指導体制とするよう、教員を補充することで準備を進めている。(26)</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>5. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</p>	<p>定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用を前提として、長期的に安定した教員構成の維持及び教育研究の向上を図っていくため、今後の教員採用においては、年齢構成をより重視するとともに、FD等を通じた教員の育成指導を行っていく。</p> <p>また、申請時に教員組織編成の将来構想として掲げた事項を着実に実行するよう、各委員会及び教授会において、所要の検討を行っている。</p> <p>(26)</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <保健医療学部 看護学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

- <全学委員会>朝日大学FD活動推進委員会  
 <学部委員会>朝日大学保健医療学部FD委員会

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- <全学委員会>朝日大学FD活動推進委員会  
 年3回程度開催し、副学長及び各学部から選出された委員（計8名）が参加している。  
 <学部委員会>朝日大学保健医療学部FD委員会  
 月1回程度開催し、保健医療学部教員（5名）が参加している。

###### c 委員会の審議事項等

- <全学委員会>朝日大学FD活動推進委員会  
 ・ 全学で実施するFD活動の計画、実施及び実施結果の総括  
 ・ 予算に関する事項  
 <学部委員会>朝日大学保健医療学部FD委員会  
 ・ 全学FDの活動方針を受け又は学部独自で実施するFD活動の計画、実施及び実施結果の総括  
 ・ 予算に関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- <全学で実施するもの>  
 ・ 授業理解度調査（学生に対する授業評価アンケート）  
 ・ 教員相互の授業参観  
 ・ 教員研修会  
 ・ 学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣  
 <学部で実施するもの（予定）>

※上記に加えて

- ・ 教員研修会  
 ・ 学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣  
 ・ 研究活動に関する情報収集及び周知  
 ・ シラバス改善

###### b 実施方法

- <全学で実施するもの>  
 ・ 授業理解度調査（学生に対する授業評価アンケート）  
 下記③のとおり  
 ・ 教員相互の授業参観  
 教員が、自身の授業改善につなげるため、他の教員の授業を参観できる機会を設けている。  
 参観を可能な授業科目、担当教員及び期間等について、全学で取りまとめ、周知している。

・教員研修会

外部講師を招聘し、講演並びに情報交換等を実施している。

・学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣

掲示や回覧により研修会等の案内を行い、教員の積極的な参加を勧奨している。

なお、テーマ、内容により、特に必要と思われるものについては、可能な限り教員を派遣している。

<学部で実施するもの（予定）>

具体的な実施計画を朝日大学保健医療学部FD委員会で検討中

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<全学で実施するもの>

・授業理解度調査（学生に対する授業評価アンケート）

下記③のとおり

・教員相互の授業参観

学部によって、8割～10割の授業科目で参観受け入れを行い、4割程度の教員が参観している。

・教員研修会

年1回～2回程度開催し、毎回、半数程度の教員が参加している。

・学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣

適宜、実施している。

<学部で実施するもの（予定）>

具体的な実施計画を朝日大学保健医療学部FD委員会で検討中

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・授業理解度調査（学生に対する授業評価アンケート）

下記③のとおり

・教員相互の授業参観

教員個々で授業改善に取り組んでいるほか、各学部内の研究会等におけるテーマとされることがある。

・教員研修会

年1回～2回程度開催し、毎回、半数程度の教員が参加している。

・学外で実施される研修会及び研究会等への教員の派遣

全学又は学部で実施する研修会等の参考としている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

主として各学期末（複数教員が分担して授業担当する場合は、学期途中に、適宜、実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

ホームページに概要を公開しているほか、個々の教員に詳細をフィードバックしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）